

治安・安全情報

(リヨン及びローヌアルプ州)

平成25年(2013年)9月
在リヨン出張駐在官事務所

目次

1. 今月の安全・防犯のポイント
2. 在留邦人の被害事例
3. 地区別治安情報収集結果(新聞 Le Progrès 紙より)
4. 今月リヨン及びローヌアルプ州で発生した事件(新聞 Le Progrès 紙より)
 - ① 窃盗犯罪事件
 - ② 粗暴犯罪事件
 - ③ 凶悪犯罪事件
 - ④ 知能犯罪事件
 - ⑤ その他の事件
 - ⑥ テロなどに関する一般治安情報
5. 今月の出来事

1. 今月の安全・防犯のポイント

ATM機での現金引き出し時の注意

リヨン市第8区の住民など30人以上が、自分たちの口座から覚えのない海外引き出しがされていると警察に届け出をしている。この届出人達は、クレジットカードを紛失したりネットで支払いしたわけではなく、クレジットカードを使って8区内の銀行のATM機で現金を引き出していた。おそらく何者かが、ATM機にスキマーとよばれる、カード情報を読み取る機械が設置しておき、その情報を入力したカードを使って、海外で現金引き出しをした疑いが高い。そのために、まったく行った覚えのないモロッコやマレーシア、インド、米国などの外国から現金引き出しがされた様子。夏の間には、第8区内の Bachut 地区 Mermoz 地区にあるATM機でこのスキマーが発見されている。暗証番号を読み取るための偽のキーボードやカメラなど、巧妙に設置されていて気づかない場合が多いので、ATM機を使用する場合には、外部の道路に面した機械ではなく、なるべく銀行建物の内部にある機械を利用したい。また、カード口座は頻りにチェックし、疑わしい引き出しの動きがある場合には銀行にすみやかに問い合わせることが望ましい。

リヨン市内監視カメラ

リヨン市では、2000年から市内各所で監視カメラの設置が始まったが、2013年にはその総数262台となり、リヨン都市治安管制センターにおいて、常時3人の職員が年中無休24時間体制でカメラを制御して監視している。画面上で異常な事態が観察された場合には、必要に応じて警察や消防隊、市や区の緊急対応サービスに連絡される。2014年には新しく152台のカメラが設置される予定。リヨン市トゥレーヌ第一助役は、監視カメラによって犯罪行為を完全に無くすことはできないが、救援救助の対応をより迅速におこなうことにより、重大犯罪を未然に防ぐ効果があることは実証されていると述べている。

SNCFのタクシー予約サービス

9月17日から、SNCF(フランス国鉄)は、すでに国内の複数駅で開始されている、インターネットによるタクシー予約サービスを、リヨンのパールデュエ駅及びペラッシュ駅でも開始した。このサービスで前日までに予約すれば、タクシーあるいは運転手付の車が送り迎えに来てくれる。サイト www.pap.sncf.com に日付と搭乗電車番号 (numéro de train)、出発駅と到着駅を入力すると、出発地から到着地までの送り迎え (片方だけでも可) のタクシーの料金が計算され、あらかじめネット支払しておけば、電車が遅れても、駅で予約したタクシーが待っていてくれる。また、この一定料金には荷物と四人までの乗車料金が含まれている。このサービスを利用すれば偽タクシー運転手などに割増料金など騙し取られたりする心配もなくなるだろう。

2. 邦人の被害事例

9月14日午後5時ごろ、短期旅行中の邦人女性が、ジュネーブからリヨンへ向かう電車に乗ったところ、乗車前に買い物をした時にはあった財布が、リヨンに到着後無くなっていることに気付いた。ジュネーブの駅ホームで電車を待っている時や乗車時に、多くの人で混雑していたため、その際に盗られた可能性があるとのこと。

3. 地区別 治安情報集計結果

2013年9月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	東	西	南	北	AIN県	Iser e県	Loir e県	合計
凶悪犯 (殺人、強盗、放火、強姦)		1						1		3				1	1		7
粗暴犯 (暴行、傷害、脅迫、恐喝、凶器準備集合)		2	4					2	1	2			1		1		13
窃盗犯 (侵入盗、乗り物盗、 車上荒らし、ひったくり等)	2	3	3		1		5		1	2	1	1	1		1	1	22
知能犯 (詐欺、横領等)		1	2				1	1		2							7
その他 (賭博、売春、麻薬密売、迷惑 行為等軽犯罪)	4	2	7				3	1	6	10		1	2				36
合計	6	9	16	0	1	0	9	5	8	19	1	2	4	1	3	1	85

※ 数字はプログレ紙に掲載された犯罪記事発出数で、統計的な意味はない。

グランリヨン東→Jonage, Meyzieu, Décine-Charpieu, Chassieu, Saint-Priest, Bron, Villeurbanne, Vaulx-en-Velin, Mions

グランリヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon

グランリヨン南→La Mulatière, Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison, Vénissieux, Solaize, Saint-Fons, Irigny, Feyzin, Corbas, Vernaison, Charly, Grigny, Givors

グランリヨン北→Caluire, Rillieux, Sathonay, Fontaines-sur-Saône, Fontaines-St-Martin, Rochetaillée-sur Saône, Mont-D'Or, Limonest, Lissieu, Neuville, Cailloux-sur-Fontaines, Montanay, Genay

4. 今月リヨン及びローヌアルプ州で発生した事件（新聞 Le Progrès 紙より）

① 窃盗犯罪事件

9月1日午前7時半、リヨン市第5区の Noyers 通りにあるアパートに泥棒が入り、携帯電話2台と財布が盗まれた。この犯人は犯行中に音を立てたために、寝ていた家主が目覚まし、犯人を見つけて後を追いかけたが、そのまま逃げ去られてしまった。しかし家主が追跡中に、犯人は身分証明書の入ったカバンを落としていったために、結局その日午後に逮捕された。この男は暴行罪で服役していた刑務所から出所してきたばかりであった。

9月2日、リヨン市第7区の Guillotière 地区のアパートに二人の泥棒が侵入した。物音で目覚めたアパートの住人が叫び、その叫び声を聞いた隣人が警察に通報した。犯人達はカッターナイフと拳銃で住人を殺すと脅してアパートの中を物色したが、結局何も取らずに逃亡しようとしたところ、通報を受けて外で待ち受けていた警察に逮捕された。

9月4日夜中、Limonest 市にある自動車会社 Automotion Lyon Nord 社に何者かが侵入し、Jaguar XS などの高級車4台が盗まれた。被害額は300,000€以上に及ぶとのこと。

9月4日午後5時半ごろ、リヨン市第2区のベルクール広場で、17歳の浮浪者が通行人のリュックサックから貴重品を盗んだところを現行犯で逮捕された。

9月4日、リヨン市第3区の地下鉄 Saxe Gambetta 駅で、駅構内にいた女性からネックレスを奪い取った19歳の若い男が現行犯で逮捕された。

9月9日午後1時頃、Villeurbanne 市 Léon Blum 通り在住の88歳の女性宅に、偽の水道局職員と偽の警察官が入り込んだ。二人が立ち去った後、財布を盗まれたことに女性が気づいた。

9月10日午後8時ごろ、リヨン市第3区の David 通りで、二人の若い男が23歳の女性の携帯電話を奪おうとしたところ、女性が反抗して一人の男に噛みついたために犯人たちは逃げ出したが、このすぐ後に、犯行現場近くで逮捕された。二人とも、警察に名を知られた13歳と16歳の少年だった。

9月11日、リヨン市第7区 Alphonse Daudet 通り在住の83歳の女性が、確認作業のためと騙されて偽の水道局職員と偽の警察官2人を自宅内に入れ、銀行のクレジットカードとその暗証番号、さらに、貴金属なども盗み取られた。

9月12日午後4時半、Villeurbanne 市 Caporal-Morange 通りで、14歳から18歳の4人組の若者が警察に逮捕された。警察官に呼び止められ取り調べられた際、彼らはどこで手に入れたか説明できない宝石やドライバーなどを所持しており、警察署で尋問したところ、空き巣に入って盗んできたものだと自供した。

9月17日午前3時頃、Saint-Fons 市内で、パトロールしている警察官を見かけて逃げようとしたワゴン車に乗っていた3人組の男が逮捕された。彼らは車内に400キログラムの銅を積んでおり、その出所を説明できなかった。

9月17日、リヨン市第7区 Gerland 地区で、自転車で二人乗りしていた16歳と17歳の少年2人組は、乗っていた自転車が Confluences 地区の工事現場からその直前に盗まれたものだったため

に、警察に逮捕された。

9月18日、リヨン市第2区の Bellecour 広場で、14歳の少年から暴力的に携帯電話を奪い取った15歳の少年が逮捕された。

9月19日朝、リヨン市第1区の Terreaux 広場で、何者かが運送業者運転手を押し倒して、配達する途中だったレストランチケット170冊分の入った段ボール箱2箱を奪って逃げた。被害額は17000 euros に及ぶらしい。

9月19日午後9時ごろ、リヨン市第7区の Grillet 通りにあるアパートの雨戸を壊して、中に侵入しようとしていた16歳から23歳の3人組の若者が逮捕された。目撃者が警察に連絡したために逮捕された。

9月20日、リヨン郊外の Montagny 市で、午前9時半ごろに近所に見慣れない車がとまっているのを見かけた住民が警察に通報した。警察が駆けつけて尋問したところ、20歳から30歳代の5人組が警察の指示に従わずに逃亡し、そこから Givors 市まで警察の車とのカーチェイスとなった。逃亡車は Givors 市内でカーブを曲がりきれずに壁に衝突したが、5人組は車から降りてそのまま逃走した。結局 Givors 市や Saint-Genis Laval 市の警察官が動員され、ヘリコプターまで出動して捜査が行われたにもかかわらず、犯人らはその網を縫って逃げたままとなっている。

9月20日午前4時頃、リヨン市第8区の Ambroise Paré 通りで15歳から22歳の3人組の若者が、21歳の若い男性をブラスナックルで脅して携帯電話と現金を奪い取っているところを現行犯で逮捕された。警察がその場で取り調べると、この3人組は他の盗難携帯電話やMP3など、出所がはっきりしない物を数々所持していた。

9月21日午前9時半ごろ、リヨン市第7区の路上で、30歳の女性が携帯電話でSMSメッセージを打ちながら歩いていたところ、14歳の少年にその電話をひったくられた。この少年は、この犯行現場を見かけた目撃者がすぐに後を追いかけて捕まえた。

9月23日午前5時ごろ、リヨン市第2区の Salat 通りにあるレストランの建物の壁をよじのぼり、開いている窓から忍び込んで、料理器具やスピーカーなどを盗み出した23歳の住所不定の若者が、目撃者の証言により逮捕された。本人の自供によると、空腹だったためにレストランで何かを食べようと侵入したとのこと。

9月24日午後10時ごろ、Villeurbanne 市 Charles Hernu 広場で30歳代の2人組の男達が、49歳の男性から暴力的に携帯電話を奪い取ったために、その直後に逮捕された。2人とも複数の前科を持つ男達だった。

9月24日午前中、リヨン市第3区の Victor Augagneur 河岸で、44歳の男性から金の首飾りを引ったくって奪い取った17歳と19歳の若者が逮捕された。

9月24日 Villeurbanne 市で、ヘルパーとして勤務していた家庭から貴金属などをこっそり盗み出し、それらを売った金を自分の口座に入金していた女が逮捕された。この女性ヘルパーを雇っていた数件の家庭から、ヘルパー派遣会社に対して紛失物の問い合わせがあり、警察が女の家宅調査をおこなったところ、自宅には盗んだ貴金属の一部や、買取業者からの領収書などがあり、被害総額は約6500€とのこと。

9月25日午前10時頃、リヨン市第2区 Edouard Herriot 通りに在住の82歳の男性宅に、花束の配達と偽って2人組の男が訪れて入口のドアを開けさせ、その後脅して現金や宝石などを奪っていった。

9月26日夜中、リヨン市第3区 Maurice Flandin 通りで、Bellecombe 通りに駐車してあった車を盗もうとしていた男が、車を発進させることができなかつたためにカーラジオを盗んでいるところを警察に逮捕された。

9月27日、ローヌ県 Tarare 市でグルジア共和国出身の2人組の男達が逮捕された。この2人は空き巣事件2件と、ガソリン代未払い強盗事件で指名手配になっていた。彼らの車の中からは、2件の空き巣で盗んだと見られる物品が見つかった。

9月30日午後11時半頃、リヨン市第2区 Gailleton 通りで盗難自転車(Vélo'v)に乗っていた16歳から18歳の3人組の若者が逮捕された。

9月29日、Villeurbanne 市にあるボランティア団体 Secours Catholique の事務所に侵入した空き巣は、金庫のなかにあった現金やレストランチケット、小切手などを奪い取って逃亡した。

9月30日夜中、リヨン市第7区の Claude Bernard 河岸で、17歳の少年が19歳から22歳の3人組の若者に脅されて携帯電話を奪い取られた。犯人達はその後すぐに逮捕されたが、彼らはこの携帯電話の他に、大麻樹脂や、他人の運転免許証などを所持していた。

9月30日夜、Villeurbanne 市内のトラムの駅で、15歳ぐらいの4人組の少年達が、21歳の若い女性が手に持っていた携帯電話を奪い取った。その後すぐにその少年達は警察に逮捕された。

② 粗暴犯罪事件

9月4日、リヨン市第9区の Marius-Donjon 通りで、激しい口論の後に妻を叩き殺すと脅した28歳の男が逮捕された。この男は、義母の自宅の入り口も破壊していた。

9月6日、リヨン市第2区の Charité 通りで、通りかかった警察官に対し暴言を吐いて脅迫し、暴れて自転車や駐車チケット支払機などを破損した、前科のある20歳の若い男が逮捕された。

9月7日午前5時半ごろ、リヨン市第3区にあるディスコに入場することを警備員に拒絶された男が、激しい口論をはじめ、その後介入した警察に対しても暴行を働いたために逮捕された。

9月8日早朝、リヨン市第9区の Masaryk 通りで、38歳の凶暴な男が逮捕された。この男は、妻をベルトで何度も叩き、それを目撃して警察に通報した男性にも襲い掛かり、男性の車をベルトで殴りつけた。この事件の前にも、この男は60歳の男性を同じようにベルトで叩き、男性が身に着けていた金のネックレスと煙草一箱を奪った。

9月9日午後3時頃、リヨン市第2区の Perrache 駅で、パリ行きのTGV列車の中で、スーツケースや荷物を物色していた男をみかけたために話しかけた SNCF 職員が、その男から大きな刃物で脅されて軽傷を負わされた。

9月9日午前4時頃、リヨン市第3区 Garibaldi 通りにあるバー« Le gourmand »の54歳の経営者が、店内で酒を飲んで酔っ払った4人の客と口論となり、店にあった口径6.35のリボルバー銃を発砲して35歳の男性客に怪我を負わせた。

9月13日午後8時ごろ、Vaulx-en-Velin 市の Glayre 通りにある移動型民族のバラックの仮住宅地で銃撃戦が起き、仮住宅地内に在住の45歳の男性が腕に怪我をしたため、消防隊に保護された。理由や使われた銃器の種類などは分かっておらず、現在取り調べ中。

9月14日午後、リヨン市第1区で、12歳の少女に痴漢行為をはたらいた44歳の男が逮捕された。この男は、逮捕された夕方5時ごろ、Louis Pradel 広場のバス乗り場で、同じように13歳から14歳の少女達に接近しているところだった。

9月16日、リヨン市第2区の Bellecour 駅で、言いがかりをつけられたと言って28歳の男性を殴りつけた29歳と30歳の二人組男が逮捕された。

9月16日午後6時ごろ、リヨン市第9区の Sauvegarde 大通りで、若者から貴重品を奪い取ってスクーターで逃亡していた18歳の若い男が、警察の尋問に答えず、また警察を侮辱したために逮捕された。

9月17日真夜中、Villeurbanne 市 Tolstoi 通りのバス停 Institut d'art contemporain 駅で、54歳の男性が何者かに刃物で脅迫され、スーツケースとバックパックを奪われた。犯人はそのまま逃亡して捕まっていない。

9月18日、リヨン市第9区の Sauvegarde 大通りで、17歳の少年を刃物で脅して携帯電話を盗もうとした15歳の少年が逮捕されたが、この少年はすでに30件以上の前科を持っていた。

9月18日午後6時、リヨン市第7区地下鉄 Jean Macé 駅で、20歳の若い男が TCL の乗車券コントロールの際に、リヨン市都市交通 TCL の職員を侮辱し素手やベルトで殴り掛かったために逮捕された。この男は、取り調べ中に大麻樹脂を所持していることが判明した。

9月18日午後6時ごろ、リヨン市第8区で、若い男が女性に飛び掛かって地面に倒し、女性の携帯電話を奪い取ろうとしたところを、たまたま通りかかった警察が現行犯で逮捕した。

9月19日午後11時ごろ、リヨン市第7区の Pont Pasteur 橋で、辺りに駐車してあった車15台を傷つけて破損していた24歳から29歳の3人組の若者が逮捕された。そのうちの1人は、逮捕時に警察官を侮辱した。

9月20日午前2時ごろ、リヨン市第1区の Neuve 通りで乱闘があり、それに介入した2人の警察官が乱闘中の17歳の少年から暴行をうけ、全治6日間の負傷となった。

9月20日夜中、リヨン市第3区の Charles Béraudier 広場で、男女のカップルが数人のグループから暴行を受け負傷した。特別な理由があったのかどうかは不明で、容疑者の1人がその後逮捕されたが、容疑を否認しているらしい。

9月21日午後、Villeurbanne 市 Gratte-ciel 地域で、ヘルメットを被らず道路を反対方向に走っていた二人乗りのスクーターを、見かけた警察が止めようとしたが、二人はその指示に従わず歩道などを走って逃げ回り、結局後ろに乗っていた男は逃走、運転していた21歳の男は前科のある若者で手錠をかけられるときも暴れまわって抵抗した。

9月22日早朝、Villeurbanne 市 Genas 通りでスピードを出して走っている車を交通取り締まりの警察が止めようとしたが、その指示に従わずに走り去り、車はその後駐車してある他の車に衝突

したのち、運転していた男は車を捨てて逃走した。この後すぐにこの27歳の男は逮捕されたが、すでに25件の訴訟裁判中の、警察に良く顔の知られた男だった。

9月25日夜中、リヨン市第3区で警察の交通検問に従わずに逃亡した車が、直後に Voltaire 通りで捕まった。酒に酔った運転手は警察官に噛みつき、助手席に座っていた女性も運転手の逮捕に抵抗したために逮捕された。2人とも21歳だった。

9月27日午後10時頃、リヨン市第3区 Bonnel 通りで19歳の若者をフォークで脅し、ガレージの入り口に引きずり込んで携帯電話を奪い取った、Bron 市在住の39歳の男が逮捕された。

③ 凶悪犯罪事件

9月2日午後4時ごろ、リヨン市第2区の Perrache バスセンターで、42歳の男が St-Fons 市から乗車したバスの中で、同じバスに乗車していた18歳の若い女性を性的に暴行した。

9月5日午前11時ごろ、イゼール県北部の Pont-de-Chéruy 市の携帯電話取扱店 Bouygues Télécom に4人組の覆面をして銃を持った強盗が押し入り、店内在庫すべての電話機を出させ、その後隣の Orange にも同様に押し入った。彼らは、四駆車のトランクに奪い取ったすべての電話機を詰め込み逃亡しようとしたが、四駆車が発進せず、結局4人組のうち2人は走って逃げ、残りの2人(19歳と21歳)が逮捕された。2人ともイゼール県の Villefontaine 市など近郊に在住で、四駆車も9月2日に Villefontaine 市でホームジャッキングにより盗んだ車であった。逃亡した同じ地域出身の共犯者たちもその日のうちに逮捕された。

9月6日午前8時半頃、オート・サヴォア県 Saint-Julien-en-Genevois 市で4人組の強盗犯が逮捕された。このうち2人の男達は、スイス国境沿いにあるガソリンスタンドで強盗を働き、その証拠を隠滅するために Saint-Julien-en-Genevois 市で乗っていた車に火をつけ、その場に用意していた別の車に乗り込んだ。この車の中には仲間の女2人が待っており4人で逃亡したが、数分後にフランスの警察に逮捕された。被害額は煙草数百ユーロ分、この4人は23歳から28歳の若者で、リヨン在住だった。

9月第一週、Genas 市の Rhône-Alpes Argent という産業廃棄物取扱業会社に、銃をもち覆面をした3人組の男が押し入って従業員3人に対して暴行して脅した。この会社では、医療レントゲンフィルム等から再利用のために銀成分を抽出しており、数百キロ相当の銀をこの強盗に奪い取られた。

9月23日午後8時半ごろ、リヨン市第8区の Challemel Lacour 通りにある携帯電話ショップ Phone Moulin à vent に4人組の強盗が入り、銃で脅して客を外に出してから経営者を激しくなぐり、店内にあった携帯電話と現金を奪い取って逃亡した。容疑者の1人が盗まれた携帯電話や現金を所持していたために、その後店の近くで逮捕された。

9月26日午後8時半ごろ、アン県の Tossiat 市にあるガソリンスタンドに2人組の強盗が入り、スタンド内にあったスーパーの53歳の女性職員を脅迫して、レジの現金とウィスキーなどのアルコール15本などを盗んで逃亡した。ガソリンスタンドの経営者によると、この地方のガソリンスタンドはいずれも過去数か月の間に同じような被害にあっているため、次は自分たちの店が狙われるかもしれないと思っていたところだったと話している。

9月29日真夜中、Meyzieu 市の Pays-Bas 通りにあるマクドナルドに、覆面をして銃を持った強盗が押し入り、金庫を開けさせて中にあった現金とレストランチケットを盗んで逃亡した。その後、

隣町の Miribel-Jonage 市の l'Isle 通りで警察検問から逃亡した車があったが、結局盗難品のはいったカバンは盗難現場から2キロほど離れた路上に落ちているのが発見された。現在警察が詳細を調査中。

9月30日朝9時頃、Villeurbanne 市 Richelieu 通り在住の30歳の女性宅前で、電気工を名乗る男が呼び鈴を鳴らした。女性がドアを開けたところこの男は女性を刃物で脅しながら内部に押し込んで、ガムテープで猿ぐつわをかませ足を縛り付けた。内部を物色したあと、犯人は宝石や現金300€を奪って逃亡した。

9月30日昼ごろ、Villefranche sur Saône 市のたばこ店に覆面をして銃をもった2人組の男達が強盗に入り、銃で脅して、煙草のカートン30箱と現金約1000€、収入印紙84€を奪い、警察が到着する直前に逃亡した。

④ 知能犯罪事件

9月24日、偽の給与明細などを銀行に提出して信用貸付金をうけていた、Ecully 市在住の38歳女性が逮捕された。この女性はリヨン市第3区の銀行から2011年の4月以来金を借りていたが、口座上に問題が発生してこの事実が発覚した。

9月24日、リヨン市第3区に在住の20歳の若者が、郵便物の盗難により手に入れた小切手を使って、2012年3月以来現金を引き出していた罪で逮捕された。

⑤ その他

9月3日、Villeurbanne 市 Maréchal Leclerc 通りで、無免許で500cm³のスクーターを乗り回し、警察のコントロールや酒気検査を拒否した、酒に酔った40歳の男が逮捕された。

9月4日、リヨン市第1区 Romarin 通りで大麻樹脂を密売していた31歳の男が、大麻樹脂と現金190ユーロを所持していたため、逮捕された。

9月4日夜中、パリ方面に向かう高速道路の Villefranche-Limas 市料金所で、ドイツのナンバープレートの本ツ車を運転しているイギリス人男性を尋問した税関員が、税関犬に車を点検させると反応を示したために、車内を調べると、ボンネット内部の空調スペースからコカイン5.96kg(268200€相当)見つかった。また、車内にあったスーツケースのカバー裏からは現金13000€が見つかった。このアルバニア出身のイギリス人男には、直ちに Villefranche 市裁判所で6か月の禁固と罰金178800€の有罪判決が下された。

9月5日夜中、パリ方面に向かう高速道路の Belleville-sur Saône 市にある休憩所で、700キロの大麻を、Go Fast という方法で2台の高級車(1台は偵察車、1台が輸送車)で輸送していたパリ近郊在住の二人組の男が逮捕された。

9月5日、Caluire 市 Charles Senard 河岸でスクーターに乗っていた38歳と48歳の二人組の男が逮捕された。この二人は、警察官の姿をみて所持していたヘロイン(1gと5g)二袋を捨てたところを、警察が見逃さなかったために捕まった。男たちの自宅からは40g近くのヘロインと現金430€が見つかっており、取り調べによると過去1年間で約2kgのヘロイン(20000€相当)を密売していたとのこと。

9月10日午後、リヨン市第3区の Sainte-Marie 通りで、車を運転していた18歳の若者が警察

の指示に従わず逃亡し、数か所で衝突し物品破損の事故をおこして、最後には警察の車に衝突して逮捕された。この男は運転免許をもっていなかった。

9月14日に Villeurbanne 市の中心部で結婚式が行われ、その騒ぎの中でランボルギーニ車を運転していた男が警察に尋問されると、この男は運転免許証をもっておらず、また同じグループのベンツ車を運転していた男は一方通行と一旦停止を無視して進み、警察の指示に逆らったために、このグループの男達は逮捕された。

9月23日には、リヨン市やその近郊で、子供が犠牲になる交通事故が重なった。Villeurbanne 市の Antonin Perrin 小学校の校門近くの柵に車が突っ込み、歩道にいた30歳の母親と5歳と7歳の子供2人が軽傷をおった。Venissieux 市では昼ごろ Jacques-Duclos 通りで2台の車が衝突し、3人の子供達が被害者となり、そのうち7歳の子供が重傷で病院へ運ばれた。リヨン市第1区では、午後5時頃 Forez 広場で、キックボードに乗った10歳と12歳の子供が2人、車に轢かれて病院に運ばれた。

9月26日夜、ドローム県の Valence 市近くで、13人のルーマニア人とその雇用者である1人のスペイン人が逮捕された。このグループは、イゼール県の Vercors の林で違法に採取したキノコ1.6トンを持っていた。このキノコはスペインではとても人気のある食用キノコで、1キロあたり10ユーロから30ユーロで売買されているとのこと。

9月29日午後、ロワール県の La Chaise-Dieu 市近くの林のなかでも、東ヨーロッパナンバーのライトバン数台に乗ってキノコを採取にきていた18人のグループを、警察が尋問して採取を中断させた。近年、ドローム県、ロワール県、オートロワール県、アリエ県などでは、外国から集団で押し寄せ、売買目的でキノコを採取するために私有林などに立ち入り、地元の人たちが食べる分も残さずに取り漁っていく例が後をたたく、規制が厳しくなる可能性が高い。

⑥ テロなどに関する一般治安情報

特になし

5. 今月の出来事

若い少年の犯罪が急増

リヨン市第8区では、数週間前から Etats-Unis 地区付近では強盗事件が度重なっておこっているが、リヨンの警察の話によると、若者犯罪の大物はここ最近逮捕されているため、そのためにもっと若い15歳から16歳の少年達による、たばこ店、スーパー、ガソリンスタンドの強盗や、銃器などをもって携帯電話の窃盗などの犯罪が多数発生しているとのこと。

一酸化炭素中毒

Jonage 市の職員が、締め切った倉庫のなかで熱エンジンのコンクリートグラインダーを使用して工事をおこなっていたところ、中にいた4人の職員たちは急に容態がおかしくなったために、消防隊が駆けつけて病院へ運ばれた。結局、締め切った空間の中で一酸化炭素が発散されて中毒になったこと。

グルジアマフィアの大物リヨンで逮捕

ヨーロッパで指名手配されていた、元ソ連グルジア国籍のマフィア Vory v Zakone(刺青が有名)の大物、43歳の男がリヨン市内で9月4日に、リヨン市内第8区にあるクリニックに入ろうとしてい

るところを逮捕された。この男は、大規模な犯罪組織を構成する重要人物の一人で、今回の逮捕のためにフランス国内でも大がかりな捜査網が敷かれていた。

Raymond-Barre 橋ようやく設置される

当初は7月30日に予定されていた、ローヌ河をまたがって Gerland 地区と Confluence 地区をつなぐ Raymond-Barre 橋の設置工事が、数度の延期の後ようやく行われた。この橋は、歩行者および自転車などの通行に限られ12月から来年の1月には開通の見込み、また、トラムT1線は来年の2月中には走行する様になるとのこと。